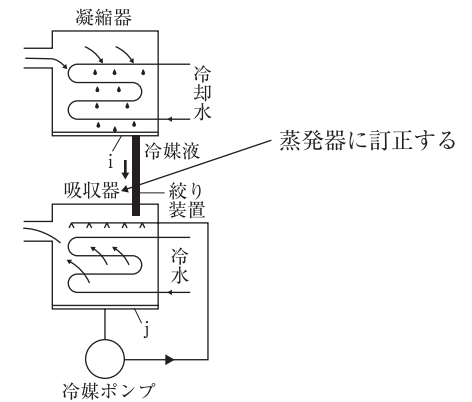


訂正箇所	誤 (下線部)	正
p.59 上から13行目	亜酸化窒素	→ 一酸化二窒素
p.131 表4.2.1	引抜き銅管	→ 引抜き鋼管
p.227 表6.1.5	項目「硫黄分」の単位〔%〕	→ 〔質量パーセント〕
p.230 下から17行目	液化天然ガス	→ 液化石油ガス
p.237 上から10行目	火炎面積〔m ³ 〕	→ 火炎面積〔m ² 〕
p.246 表6.4.1	元素Hの必要酸素量 5.56 m ³ _N /kg	→ 5.54 m ³ _N /kg
p.291 表6.9.5	レンジ*) 〔vol ppm〕	
	0~25 ┆ 0~2 000	→ 3 000に訂正する
	0~25 ┆ 0~2 000	→ 3 000に訂正する
	0~25 ┆ 0~2 000	→ 3 000に訂正する
	0~10 ┆ 0~1 000	→ 3 000に訂正する
p.295 上から5行目	加熱器	→ 過熱器
p.392 図8.2.20	Fe ²⁺	→ Fe ²⁺
p.443 上から1, 18行目	熱効率	→ 総合効率
図8.3.24	総合熱効率	→ 総合効率
p.450 上から10行目	NaSO ₄	→ Na ₂ SO ₄
p.465 表8.4.3 標題	冷媒の地球環境破壊係数	→ 冷媒の地球温暖化係数
下から7行目	90 Pa	→ 0.9 kPa
下から6行目	900 Pa	→ 9.0 kPa

p.466 図8.4.37



p.474 式 (8.9)

$$SHF = \frac{q_s}{q_s - q_L}$$

→ $SHF = \frac{q_s}{q_s + q_L}$

p.511 表8.5.6

クロム・マグネシア質

→ マグネシア・クロム質

p.524 上から12行目

液組成 y_{n+1}

→ 液組成 x_n

上から13行目

蒸気組成 x_n

→ 蒸気組成 y_{n+1}

p.530 上から5行目,

静圧頭

→ 静水頭圧

下から12, 4行目

p.538 下から5行目

減率速度曲線

→ 減率乾燥速度

p.541 上から11行目

製品単位重量当たり

→ 製品単位質量当たり

p.542 下から14行目

液層

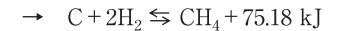
→ 液相

p.547 下から8~6行目

燃焼室の温度は……石炭を加熱する。

→ この熱が耐火レンガを通して炭化室に伝わり石炭を加熱する。乾留の温度は1 350℃程度 (ただし、鋳物用コークス製造の場合は950~1 100℃とやや低い) となる。

p.551 式 (8.6.39)



式 (8.6.40)



(ご注意) p.226 表 6.1.4 軽油の規格性状

JIS K 2204 軽油の要求品質が 2004 年に改訂されました。主要には以下のとおり。

* 硫黄分〔質量%〕 0.05 以下 → 0.005 0 以下

* 追加項目 → 密度(15℃)〔g/cm³〕 0.86 以下